

くらしナビ 住まい Living

kurashi@mbx.mainichi.co.jp

NAVI-CATOR

掃除の手間を できるだけ省きたい。

共働きや一人暮らしの高齢者が増え、注目される「家事の効率化」。自動で掃除をする商品は手ごろな価格のものもあり、家庭に浸透しつつあるようだ。

ロボット掃いてふいて

維持費、光熱費も考慮

掃除の手間が省けるのは魅力だが、高機能の家電や住設備は値段もはる。どちらが「お得」か、どう判断すればよいのか。ひまわり法律FP事務所（大阪府守口市）のファイナンシャルプランナー、中野庸起子（ゆきこ）さんは「本体のコストのほか、メンテナンス費などの維持コスト、余分にかかる光熱費を忘れずに」とアドバイス。そのうえで、自由になる時間を「働くと考え、お金に換算して検討するのも一つの手」という。ただ、子どもとの触れ合いなど金銭に代えられない時間もある。中野さんは「まず家族ごとに将来の生活設計で、何に価値をおくのかバランスを考えることが重要」と話す。

●掃除機

ウィーン……。毎朝9時過ぎ、出勤や通学で誰もいなくなった神戸市東灘区の会社員、淡海康哉さん(45)方で、円盤形のロボットが掃除を始める。ブラシでかきだしたゴミを吸いながら約40分間、テーブルの下やじゅうたんの上を走り回る。居間と台所、廊下の計約25平方メートルを掃除し終えると充電器に戻る。

ロボットは、米・アイロボット社の「ルンバ」が部屋の広さなどから掃除時間を判断。階段や玄関などの段差を避け、汚れのひどい所は何度も行き来する。淡海さんは今年2月にルンバを購入。以前は妻の育さん(42)が毎朝、パートに出る前に掃除機をかけていたが、早めに出社する余裕ができた。帰ってくと気持ちがいいと育さん。毎日、手のひら一杯分ぐらいのほこりや砂が取れるという。

国内では02年に発売、08年度は前年度比約1.4倍の約3万3000台売れた。安い機種は5万9850円から。約1年で交換するバッテリーも1万500円するが、販売会社「セールス・オンデマンド」(東京都)の朝日伸・西日本営業所長は「当初は50〜60代の富裕層がターゲットだったが、30〜40代の共働き、子育て世帯にも人気が出ています」と話す。

自動洗浄機能つき設備も

●レンジフード

クリナップはファイル自動洗浄機能が付いた「洗エールレンジフード」(20万7900円)、横幅90センチを

07年9月に発売。換気扇の使用頻度などから汚れを感じし、ぬるま湯6500ccを給水タンクに入れボタンを押すと、約10分で洗浄と乾燥が完了する。標準使用「社の検証では一般家庭で月に1度洗浄」で、約10年間はフィルター交換の必要がないという。

にゴミ吸着シートを張る。30、60、90分のタイムがあり、縦横無尽に動く。輸入・販売会社の大作商事(同)によると、04年から通信販売や雑貨店などで約33万個売れたという。

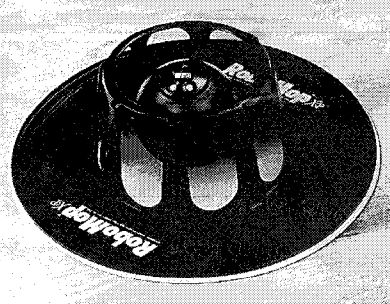
●お風呂

風呂場にも新商品が登場している。TOTOが08年2月から展開するシステムバス「スプリン」シリーズは、除菌効果のある銀イオン水7リットルを洗い場に自動散布する。日に一度ボタンを押すだけで、床と排水口のヌメリとにおいを防げる。同社によると、余分にかかる水道・電気代は月103円という。

掃除ロボット「ルンバ」。お茶を楽しむ間にも勝手に掃除してくれる

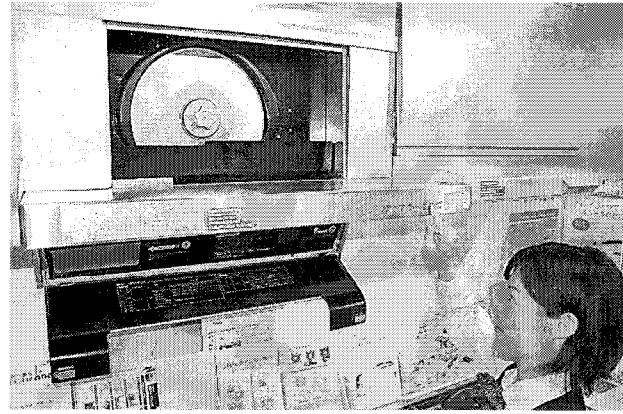


神戸市東灘区の淡海さん方で、反橋撮影



●ロボモップXP。フローリングやタイルなど滑らかな床に使える。大作商事提供

●クリナップの「洗エールレンジフード」。丸い回転式フィルターに水を噴射し汚れを浮かせる。大阪市のショールームで



【反橋希美】

勝間和代の日本を変えよう

Lifhacking Japan

勝間和代

なぜ日本人は国の将来に悲観的なのか。「明日にワクワクできる日本」に変えるために。カリスマ経済評論家が満を持しておくる「15の提言」に各界が注目! 定価1575円(税込)

発売 たちまち 大増刷!

毎日新聞社